

登録コード	MA008700	開講年度	2026				
授業科目名	周麻酔期看護学実習Ⅱ					担当教員	田中 聡
英文授業名	Clinical Practice in Perianesthesia Nursing Ⅱ					副担当	石田 高志・伊藤 真理子・石田 公美子・田中 竜介・丸山 友紀
単位数	6	講義期間	不定期	曜日・時限			対象専攻／学年
講義室			授業形態	実習	授業科目区分	(周麻酔期) 必須科目	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄						
	MS26カリ(医科学)・医科, MS25カリ(医科学)・医科, MS24カリ(医科学)・医科, MS23カリ(医科学)・医科						
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。				⇄	周産期・小児など特殊な麻酔事例の麻酔管理やハイリスク麻酔管理の留意点をあげられる。	
(2)授業の概要	周産期・小児など特殊な麻酔事例の麻酔管理、緊急手術などハイリスク麻酔管理の実際について実習を通して学ぶ。 その中から周麻酔期看護の役割について考えることができる。 また、長野県下の病院での実習を通し、一般病院における周麻酔期看護の役割や必要性について考えることができる。 担当教員の麻酔・周術期医療の実務経験、科学的根拠を含む知見を活かした実習指導を行う。						
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	麻酔科指導医（日本麻酔科学会認定）のもとで、麻酔事例、緊急手術などのハイリスク症例の麻酔管理について実践し、知識・技術を習得する。						
(4)達成目標（個別行動目標SBOS）	実際の麻酔事例や緊急手術などの麻酔管理について、麻酔科指導医（日本麻酔科学会認定）の下で実践し、その内容を科学的根拠に基づき説明できる。						
(5)授業計画	各分野における麻酔管理に焦点をあて、実習を行う。 1. 麻酔科指導医（日本麻酔科学会認定）の下で、術前から術後の麻酔管理の実際を学ぶ。 実習場所：信州大学医学部附属病院手術部、ほか 2. 可能な限り、緊急手術など高リスク患者の麻酔管理の実際を、見学を通して学ぶ。 また、救急外来ならびにICUにおける実習(救急外来から緊急手術に至る症例、術後ICU管理の症例も含む)を行う 日時は学生と相談の上決めていく。緊急症例やハイリスク症例は予定手術でない事が多く、症例があった際に学生に相談する。						
(6)授業の進め方	臨地実習						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	実習後、実習での学びを、周麻酔看護概論・特論や演習での学びの内容と関連づけ、復習を行う。実習には適宜、講義録等を持参し、参考にする。技術等については適宜、麻酔科医の指導の下で練習の機会を設ける。以上で学んだ点を、知識として積み上げていく。						
(8)成績評価の方法	指定した事前準備、実習の内容の修得度から評価を行う。 習得度については、実習中に科目担当者が質問したことについて適切な回答がされること、学生のレベルで適切な技術が提供されること、危険行為のないことを総合的に判断する。						
(9)成績評価の基準	質問事項や実習の内容が授業で示した例題と同レベルであれば「水準にある(可)」, 応用問題が解ければ「やや上にある(良)」, やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある(優)」, 例題よりもかなり難しい応用問題が解ければ「卓越している(秀)」を基準とする。						
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問、相談については適宜対応する。メールも可能。 麻酔科代表：masui@shinshu-u.ac.jp ・周麻酔期看護学学生対象科目 ＊内容が変更になることがある。						
【テキスト、教材、参考書】	講義、演習等で使用したテキストや資料、他は適宜、紹介する。						